



主任 鷺尾 佑弥



無事に全行程が終わったときには、達成感と安堵感に満たされ、感慨もひとしおであった。

夢を叶えるために

忙しい日々を乗り越えてきた鷺尾。それでも前向きに現場に立ち続けているのは「会社を大きくしたい」という夢を持ち続けているからであった。

「特に創業メンバーにとっては、共通の想いでした。『高橋社長なら、それができる』という確信もあったので、つらい現場でも歯を食いしばってがんばれたのだと思います。その気持ちは今でも変わりません」。

また、ひとつの現場が完成したときに味わえる達成感も、大きなやりがいとなっていた。この瞬間の喜びは、何度経験しても色あせることがないと語った。

楽しむことを忘れない

現在鷺尾は、「広域クリーンセンター」というビッグプロジェクトに携わっている。2021年4月末からスタートした焼却場の拡大工事。規模の大きさから、工期は年末までかかることが予測される。ゴールがすぐに見える現場ではないため、まず目の前の作業を着実にこなしていく日々だ。「こつちからやった方がいいな」という感覚で動くこともありま すね。規模が大きい分、苦勞することも多いが、仲間たちとともに前向きに作業を進めている。仕事において心がけているのは、とにかく楽しく仕事を進めること。自分一人で取り組むのではなく、皆で現場を作り上げていくこの仕事。進捗が思わしくない状況だとしても、自身のコミカルな性格を活かして、良い雰囲気を作ること、心がけている。そして自分の仕事を好きになり、周囲と

2012年4月、さくら株式会社 の創業メンバーとして走り出した鷺尾佑弥。みずから現場に立つたわら、主任として後輩たちをまとめ、人材育成にも取り組む。そのモットーは、ずばり「楽しく働く」こと。鷺尾のこれまでの歩みを振り返り、今後の目標を聞いた。

社長との出会い

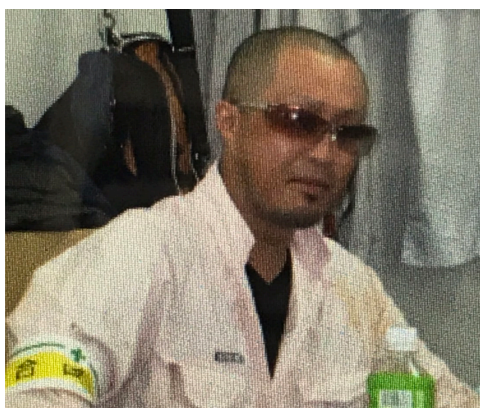
社会人としてはじめて就職した先は自衛隊であった。4年間勤務したのち、鳶職、便利屋を経て配管工を経験。社長の高橋と知り合ったのもこの配管工事時代だ。仕事は楽しかったが、不況の煽りを受けて仕事がなくなったことを機に退職すると、病院で総務の仕事をはじめ。その病院に、たまたま社長の高橋が足を運ぶ機会があり、再会を果たすことに。休日にとまどきさくらでの仕事

コミュニケーションを取れば、厳しい仕事も楽しめるはずだと鷺尾は語る。

「好きこそものの上手なれ」という言葉があるように、楽しんで働いた方が成長にもつながると考えています」。

明るく笑顔を絶やさず、今日も現場の最前線に立ち続ける。そんな鷺尾が、さくらの未来を切り拓いていくために目指すものとは。

(後編に続く)



を手伝うようになった。そうするうちに「会社を立ち上げるから、一緒に働かないか」と誘われ、鷺尾のさくら人生が始まった。

短納期の

ビッグプロジェクト

入社して最初に担当した現場は、今でも印象に残っている。薬品関係の大規模なプラント工事で、工期は約5か月。初めからタイトな工期で設定されていた現場であったが、なんとそれでも納期に間に合わせるべく、朝から深夜まで働き、残業時間が160時間を超えてしまった月もあった。最終的にはさくらの社員総出で作業にあたった。

「アクセシビリティも多く毎日が大変でしたが、『最後までやり切れない！』という気持ちで、目の前の作業に一つひとつ向き合っていました」。

企業情報

設立年：2012年4月
年商：608,257,000円
※2020年3月決算時点



協力企業

有限会社サトウ板金 をご紹介します



有限会社サトウ板金 取締役専務

おおほり たいいちろう
大堀 太一郎さん

業務内容

工場のダクト、民間の給水給湯、さくらの冷媒配管といった、様々な種類の配管の熱を逃さないように板金材を巻く「ラッキング」という作業をしています。この板金材は、用途によって、断熱材・防熱材・保温材・保冷剤など呼び方が変わります。様々な種類の配管にラッキングをしている当社ですが、さくらとは「冷媒配管」という配管において、関わりを持っており、配管設置後の後工程を当社が担当しています。和気あいあいとした雰囲気でありつつ、業務時間が終了した後も、仕事で使える国家試験の免許取得の勉強に取り組むような、真面目な社員達の存在は当社の誇りです。

さくらの従業員に対する印象

さくらの皆さんは面倒見が良く、喋っていて楽しい方ばかりです。当社はさくらの後工程に入る職種ですが、さくらが配管と防熱を一式でお客さんから受注した場合、下請けの職人の面倒も見てくれます。後工程の人が作業しづらくならないように考えて施工してもらえるので、現場がスムーズに進み、非常に助かります。



さくらの冷媒配管のラッキングの工程を担っている、有限会社サトウ板金の太堀さんより、さくらの印象やエピソードを伺いました。これを機に協力会社への理解を深め、共に助け合う、素敵な関係性を強固にしていきたいと思います！

企業情報

設立年度：平成8年 社員数：11名
所在地：宮城県亶理町 平均年齢：43.6歳



自社の強み

工事一式を請け負う場合が多い中、工期内に納めることが当社の何よりの強みです。工期が短く、忙しい現場もありますが、「お客さまの工期内に必ず終わらせる」というポリシーを守るため、他の会社から人材を借りてきたり、勤務時間の融通をきかせたりといった企業努力を怠ることはありません。

さくらとの思い出深いエピソード

2019年の12月、金沢での工事の際に、約2か月間に渡って同じ建物に泊まったことがありました。部屋は違いますが、現場の行き来をずっと一緒にしていました。さくらの方々と仕事も生活も共に過ごした記憶が印象に残っています。

さくらの皆さんへメッセージ

今まで通りお付き合いしていただけたら助かります。今後とも、よろしくお願いします！



さくらの〇〇な人！

さくらのアノ人といえば……！？皆さん思い思いの人物が思い浮かんだようです！

自叙伝出したら 10万部くらい売れそうな人

たかはし かずよし
高橋 和義さん！

10代からの付き合いですが、とにかく**内容の濃い人生を歩んでいる**と思われる人物！

もし出版されたら、尊敬の意を込めて「人ってここまで変わることができるんだ！」ということを全面に押し出した帯紙を書いてあげたい……。

さとう かつら
FROM **佐藤 桂**さん



歳下だけど頼れる 仕事の先輩

やまのじ りゅうへい
山野寺 竜平さん！

竜平と初めて会ったのは約2年前くらいで、その時は歳上だと思ってました！

入ってすぐ竜平と一緒に出張と言われ、配管工の仕事なんてやったこともなく、車の中でめっちゃ緊張しながら、「どんな仕事なんだろう」「この人何歳なんだろう」「どんな人なんだろう」……と思いつつ移動！現場に着いて色々教わりながら話していたら、まさかの歳下でビックリしました！一緒に仕事をしていても周りに気を配っていたり、仕事以外でもいろいろ気を遣ってくれたり、

本当に頼りになります！

そんな竜平は今でも頼れる会社の先輩です！

いわい しょういち
FROM **岩井 翔一**さん

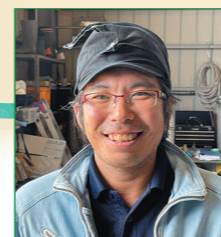


Looking back on memories of "SAKURA"



カンパニーヒストリー

会社の歴史にスポットを当てる「カンパニーヒストリー」！今回は吉田さんに、入社初期の思い出深いお仕事について伺いました。思い出の〇〇気分の現場とは……？



よしだ なるひと
吉田 成人さん

- ①一番思い出に残っているお仕事
- ②当時から心掛けていたこと
- ③当時の自分を振り返った上での今後の意気込み

①入社2年目の2月～8月末までの半年間、現場を担当するにあたり沖縄出張に行ったことがあります。当時社内にダクト工事を行う部隊が無かったため、社長から私に「なんとか手配できない？」と声がかかり、昔ダクト工事を行っていたときの知り合いの職人に呼びかけ、さくらの配管工事チームと社外のダクト工事チームも連れて計10人ほどで沖縄まで手伝いに行くことになったのです。私を含め皆が半分旅行気分を楽しみながら沖縄の現場に行ったことを覚えています……（笑）ちなみに、私はその直前まで北海道の現場を担当していて、真冬の雪国から一転、沖縄での半袖生活を送ることになったことも思い出です！

②社長からもよく言われていることではありますが、「**大変な状況でもチームの皆が仲良く、気持ちよく仕事ができる環境作り**」を心掛けています。とは言え、私も短気なところがあり、若いメンバーをまとめるのが難しく、上手くいかないこともありますが……。その中でも沖縄の現場は楽しく過ごせたと思っています！

③当手を振り返ってみると「もう少し上手くやれたよな」と反省する部分はあります。いまだに、専務や常務の技術力や知識量、経験値には到底敵わず、学ばせていただくことばかりです。いつまでも学びの姿勢と探求心をもって、取り組んでいきたいと思っています！！